

新型コロナワクチン接種後、注意すること

ワクチン接種は強制ではありません、アレルギー等がある場合はかかりつけ医に相談しましょう



ワクチンを受けた後

接種後、短時間でアレルギー反応を起こすことがあります。じんましん・腹痛・吐き気・息苦しさ等をおこし血圧が低下、意識がなくなる等が起こる場合を「アナフィラキシーショック」と呼び接種後にまれに起こる場合があります。

接種会場、医療機関ですぐに対応できる準備をしています。

接種後 15分程度はその場で、異変がないか様子を見ましょう

まれにワクチン接種に対する緊張、痛みをきっかけに立ち眩みがしたり、気を失うこともあります通常横になって休めば自然に回復します。

倒れてけがをしないよう背もたれのある椅子に座って様子を見ましょう



接種後、数日以内に現れる症状

50パーセント程度 → 接種部位の痛み、疲労、頭痛

10～50パーセント → 筋肉痛、悪寒、関節痛、下痢、発熱、接種部位の腫れ

1～10パーセント → 吐き気、嘔吐が起こることもあります

症状の大部分は接種後数日以内に回復します

症状が強い場合、体調に異常がある場合は接種した医療機関や市の窓口にご相談してください

ワクチンを受けても、ほかの方への感染を予防できるかどうかはわかりません。続けて感染予防対策（マスク、手洗い、密を避ける等）を心がけましょう。



ねこのて

発行責任者
八尋厚江

令和3年6月発行

